

北海道建築士会ブロック協議会事業報告書	
ブロック名	道南ブロック
報告者	道南ブロック長 藤原 麻美
事業名	第3回道南ブロック協議会
開催日時	令和7年10月25日(土)
開催場所	研修会：道の駅 しかべ間欠泉公園・大沼国際セミナーハウス第二会議室 協議会：大沼国際セミナーハウス第二研修室
参加者数	研修会：8名 協議会：10名(内ZOOM参加2名)
参加支部	函館(3名)・日高(5名)・苫小牧(2名)
事業内容 問い合わせ先	代表者 藤原 麻美 連絡先(勤務先) 榑佐藤公郎建築設計事務所 TEL0138-23-5430・FAX 0138-23-5424
事業内容	
議 事	<p>1 研修会 ①道の駅 しかべ間欠泉公園見学 ②函館市の空き家について</p> <p>道南ブロックは、令和7年10月25日(土)に函館支部にて「令和7年度 第3回道南ブロック協議会」を開催した。</p> <p>研修会は、道の駅「しかべ間欠泉公園」での昼食交流と間欠泉の見学から始まり、その後、大沼国際セミナーハウス第二研修室にて空き家をテーマとした研修を行った。</p> <p>しかべ間欠泉は最大で高さ15メートル以上まで噴き上がります。公園側との区画や、しぶき対策を兼ねて、間近で見学しながら仕組みを学べる見学施設が整備されていました。しかし、近隣住民や観光客の車両にしぶきがかかる事例が生じたことから、高さ約10メートルの位置に蓋状の鉄板を設置する対応が取られました。</p> <p>この経緯は、当初計画と実際の運営との間に生じる課題を示す事として示唆に富むものでした。</p> <p>空き家に関する研修は、当初予定していた函館市都市建設部の講師が急遽不参加となったため、事前に講師指導を受けた道南ブロック長・藤原が代わって登壇しました。パワーポイントと配布資料を用い、函館市の空き家の現状を整理。特定空き家の解体補助金は交付要件が高くハードルがあること、また空き家バンク開設後も周知不足や登録数の伸び悩みが課題であることが確認されました。</p> <p>また、来年度の「青年の集い」が函館市で開催されることを踏まえ、空き家問題をテーマに据えた企画の可能性について意見交換を実施。今後の進め方を検討する上でも有意義な研修となりました。</p>

事業内容

2 協議会

(1) 各支部今年度の活動総括、及び次年度について

○函館支部

■今年度：例年と同様の活動状況に加え、会員増強のための勉強会の実施。

■次年度：今年度と同様の活動を行う予定。

○苫小牧支部

■今年度：例年と同様の活動状況となった。

■次年度：今年度と同様の活動に加え、会員増を目的として活動する。

○日高支部

■今年度：支部での全国大会への参加、万博は入場に時間がかかり、アベノハルカスや他県の施設見学を行い、有意義であった。

■次年度：WEBパズル講師派遣中心に行う予定。

(2) 来年度役員改選・予算について

道南ブロック長は日高支部 渡辺 忍氏、副ブロック長は新任で函館支部 藤原 麻美氏、室蘭支部 高橋 友樹氏は留任。

予算については今年度と同様とする。

(3) 来年度について

■全道青年委員会イベント予定

連絡会議【3月】→集い：函館【5月】→全道大会 in 札幌【10/3～4】

■道南ブロック協議会開催予定

第1回：日高【4/18】→第2回：WEB【8月1週目】→第3回：室蘭【10/24】

※第2回については、対面開催も視野に入れる。

議 事

研修会・協議会状況

